

広野町図書室 新着・おすすめ本のご案内

一般書	
タイトル	著者
龍馬伝 4	福田 靖：作
マリアビートル	伊坂 幸太郎：著
科学も感動から 光触媒を例にして	藤嶋 昭：著
天寿を全うするための科学技術	藤嶋 昭：著
謹訳源氏物語 3	紫式部：著
神隠し	翔田 寛：著
神様のカルテ 2	夏川 草介：著
悪人 上	吉田 修一：著
悪人 下	吉田 修一：著
ベットの冠婚葬祭まるごと便利帳	大岳 美帆：編著
アリアドネの弾丸	海堂 尊：著
往復書簡	湊 かなえ：著
かたじけなさには涙こぼるる	白州 信哉：著
死ぬるとき人はどうなる 10の質問	大津 秀一：著
社員をパーベキューに行かせよう	蓬台 浩明：著
もっとおいしい! タジン鍋	野澤 幸代：著
毎日おいしい離乳食	裕成 二葉：著
家康、死す 上	宮本 昌孝：著
家康、死す 下	宮本 昌孝：著

児童書	
タイトル	著者
太陽と光しょくばいものがたり	藤嶋 昭：共著
どんどんどんぐり!	飯村 茂樹：写真
まんが日本全国まるわかり事典	よだ ひでき：著
獣の奏者 外伝 刹那	上橋 菜穂子：著
あいうえおにぎり	いとう ひろし：作
パスワード ドードー鳥の農	松原 秀行：作
ヒミツのケイタイデビュー	河侯 規世佳：作
だじょうぶ3組	乙武 洋匡：著
85パーセントの黒猫	あんびる やすこ：作
小学生の電子レンジのおやつマジック	村上 祥子：監修
プレゼントはお・ば・け	西内 ミナミ：著
アンパンマンとありがみまん	やなせ たかし：原作



『だじょうぶ3組』

乙武 洋匡：編

580万部のベストセラー「五体不満足」から12年。小学校教員(著者)の体験から生まれた初の小説作品である。

本書は、手と足がない先生・赤尾慎之助が5年3組の担任としてやってきた。そこで個性豊かな28人の子もたちと一緒に泣いたり・笑ったりの1年間が始まる。



『太陽と光しょくばいものがたり』

藤嶋 昭・かこさとし他：共著

太陽エネルギーを利用した光触媒やそれを利用することで、ビルやガラスがきれいになる仕組みについて、実験を交えながら、光触媒発見者・藤嶋昭の研究を知識絵本のパイオニア・かこさとしが分かりやすく解説しています。

1月の読み聞かせのご案内

☆1月7日(金)

午前10時30分から
児童図書室にて開催します。



12月の休室日のご案内

7日(火) 14日(火) 21日(火) 28日(火)
29日(水) 30日(木) 31日(金)

年末年始について

12月28日(火)~1月4日(火)まで
休室いたします。

なお、12月13日(月)から12月23日(木)までの貸出資料につきましては、返却期限を1月7日(金)までとさせていただきます。

■お問い合わせ先 広野町図書室 ☎ 27-3211

まちの話題

山岸太さんが税務署長表彰を受賞

相馬税務署主催による平成22年度納税表彰式が11月11日、相馬市で開催されました。相双地区納税貯蓄組合連合会理事 山岸太さん(広野町納税貯蓄組合連合会長)は長年にわたる申告納税制度の普及発展と納税思想の向上に尽力されています。その功績が認められ、今回の受賞となりました。誠にありがとうございます。



▶税務署長表彰を受賞した山岸さん

さ つき盆栽展開催 ~力作そろう~

第4回浜通り秋季さつき盆栽展が、ニッ沼総合公園パークギャラリーで開催されました。文化協会広野さつき会の主催により、会員を中心に作品が出品されました。鮮やかなピンクの花など、会場を訪れた方の目を楽しませていました。



▶力作が並んださつき盆栽展

お 米づくりもいよいよ終盤

広野小学校5年生50人が11月15日、脱穀作業を体験しました。児童は9月に自分たちで刈り取った稲穂をハーベスターと呼ばれる機械で脱穀しました。わらボコりにまみれながら作業に取り組んだ児童は、12月の餅つきを楽しみにしている様子でした。



◀作業の様子

活 発な意見交換が行われる

広野町消費生活友の会による埼玉県三郷市くらしの会との交流会は10月26日、三郷市庁舎で開催されました。交流会では、お互いの活動や取り組みを説明し、意見交換を行いました。広野町消費生活友の会 木村朝子会長に感想をお聞きしました。



▲あいさつする会長の木村さん

そんな中で、本年は食の安全やエコ活動をテーマに事業を進めています。全会員の協力により傘の生地を使った手さし(長短の2種類)バック、膝当て、エプロンなどを頑張って手作りしました。自分達のユニホームとしてエプロンも揃えました。また、収穫祭の会場で古着の回収(今年で2年目)も行い、福島トンボ(株)さんのご協力によりみかん箱で151箱分回収されました。回収の際、福島県クリーン福島運動推進協議会相双地域協議会からいただいた啓発物品のエコバック、ウェットテッシュと、町で作成した消費者トラブル予防のくらし安全安心だよりの配布を行いました。三郷市のような活動にはまだまだおよびませんが、私達なりに1歩ずつ活動しています。興味のある方は入会お待ちしていますのでご連絡ください。事務局 ☎ 27-4163(役場産業グループ) なお、三郷市の「40年のあゆみ」「くらしの会だより」廃油キャンドル(ローソク)の作り方、小松菜蒸しケーキのレシピもありますのでご覧になりたい方は、ご一報ください。

先進地視察研修に参加して

広野町消費生活友の会 会長 木村朝子

三郷市役所を訪問したのは初めてののですがホテルのフロントと考えるほど立派な所からのお出迎えを受け、7階の会議室で三郷市くらしの会の皆さんと事務局4名、我が消費生活友会員の交流会が行われました。和やかな雰囲気の中活発な意見がたくさん出され、とても勉強になる時間を過ごすことができました。

三郷市のくらしの会は4つの委員会(企画、広報、エコライフ推進、食生活推進)と4つの支部(早稲田、彦成、戸ヶ崎、凍和)と合わせて99名の大所帯の会です。

その8つの会、それぞれでベーコン、あんずジャム、小松菜ふりかけ、ローソク、マイ箸ケース、みそなどたくさんの物を手作りして市のイベントである消費生活展で継続販売をしているそうです。リピーターが多く、手作りが間に合わないとい嬉しい悲鳴をあげています。

これからの売上を入れて年間70万円近い予算で活動をしているそうです。その1つとして、昨年からはゴーヤ育苗をして市役所庁舎に緑のカーテンを張りめぐらし、節電と食の面でエコ活動になったそうです。

その他に今回、試食で出された小松菜を使った蒸しケーキ(かぼちゃ、レーズンなどトッピングされた)などの自信作もありました。

会員が多いにもかかわらず「〇〇委員は何を、〇〇支部はこれを」と主張し合っていて認め合い、しかも協力し合っている姿がとても微笑ましく、我が会でも見習いたいと皆で話しました。

広野町の消費生活友の会は、今年で発足から26年目。現在の会員数21名。先代の方々の計量活動や添加物のチェックなど、数々の活動があって今日に至っています。そんな中で、本年は食の安全やエコ活動をテーマに事業を進めています。全会員の協力により傘の生地を使った手さし(長短の2種類)バック、膝当て、エプロンなどを頑張って手作りしました。自分達のユニホームとしてエプロンも揃えました。また、収穫祭の会場で古着の回収(今年で2年目)も行い、福島トンボ(株)さんのご協力によりみかん箱で151箱分回収されました。回収の際、福島県クリーン福島運動推進協議会相双地域協議会からいただいた啓発物品のエコバック、ウェットテッシュと、町で作成した消費者トラブル予防のくらし安全安心だよりの配布を行いました。三郷市のような活動にはまだまだおよびませんが、私達なりに1歩ずつ活動しています。興味のある方は入会お待ちしていますのでご連絡ください。事務局 ☎ 27-4163(役場産業グループ) なお、三郷市の「40年のあゆみ」「くらしの会だより」廃油キャンドル(ローソク)の作り方、小松菜蒸しケーキのレシピもありますのでご覧になりたい方は、ご一報ください。